

1	名 称 (予 算 事 業 名)		伊勢鉄道(株)中瀬古駅公衆便所管理費補助金										
			予 算 事 業 名		駅周辺施設管理費								
			予算事業コード		00613								
2	交 付 開 始 年 度		平成	7	年度	創 設 か ら 31 年度目			3	終 期	令和	9	年度
4	分 類		事業費補助						5	所 属		都市計画課	
6	根 拠 法 令		鈴鹿市補助金等交付規則、鈴鹿市補助金等交付要綱										
7	事 業 の 目 的 ・ 概 要		伊勢鉄道中瀬古駅は駅舎開設とともに太陽の街や鈴鹿大学など周辺地域の開発が行われ、同地域の生活交通拠点として欠かせない重要な施設となっている。 このため、駅舎内のトイレを公衆トイレとして広く活用することで、駅利用者に加え周辺住民の生活環境向上に資するとともに、伊勢鉄道の利用促進・経営安定化にもつながることから、同社が施設を管理するにあたりその経費の一部を補助する。										
8	補 助 対 象 者		伊勢鉄道株式会社										
	交 付 先 (補 助 対 象 者 と 異 な る 場 合)												
9	補 助 金 額 等	(単位:千円)	補助対象事業費 (A)	財 源 内 訳				補助率 (B/A)	補助対象事業費の繰越額 (C)	補助金に対する繰越金の割合 (C/B)			
				市 補 助 金 (B)	国 補 助 金	県 補 助 金	そ の 他						
		R4年度決算額	592	296	0	0	296	50.0%	0	0.0%			
		R5年度決算額	566	283	0	0	283	50.0%	0	0.0%			
		R6年度当初予算額	641	320	0	0	321	49.9%					
		R7年度予算要求額	720	360	0	0	360	50.0%					
10	補助対象事業費の内訳 (具体的に記載)		伊勢鉄道中瀬古駅の年間管理費補助金 保守管理費105,000円、汚水処理施設維持管理費 30,804円、水道使用料の2/3 26,529円、電気使用料の2/3 214,992円、清掃費 @28,600円×12ヶ月=343,200円 ●管理費合計 720,525円 × 1/2 ≒ 360,000円 (千円未満切捨て)										
	補助金等の算出根拠 (具体的に記載)		年間管理費 (駅舎建物保守管理費のうち公衆便所建築部分、汚水処理施設維持管理費、光熱水費の2/3、清掃費)の1/2										
	増 減 理 由		光熱水費等の変動及び人件費の増加による。										

(2) 補助金等判断基準

11	総 合 評 価 点	20	12	適 否 の 評 価	継続
13	補助金等の判断基準	評 価 点	評 価 の 理 由		
	必 要 性	5	駅トイレを維持管理していくことは、駅利用者の利便性の向上及び周辺住民の生活環境向上につながるものである。		
		(減点) 0			
	公 平 性	5	駅利用者だけでなく、周辺住民や同地域を往来する市民等の利便性を確保するものであり、特定の個人や団体等に利益を及ぼすものではない。		
	効 果 性	5	【評価の理由】 駅舎開設当初 (平成6年) は、年間で約2万7千人の利用者数であったが、現在は年間で4万6千人程度の利用者があり周辺の開発とともに利用促進は順調に推移していると考えられる。 【補助金等の交付により得られる効果・実績・目的の達成状況 (具体的に記載)】 伊勢鉄道中瀬古駅の年間利用者は、令和4年度に46,547人、1日平均で128人の利用者があり、今後も鉄道利用者の利用促進と利便性向上に寄与する駅施設となることが期待できる。		
(減点) 0			事業計画書に沿った活動を行い、適正な会計処理を行っている。		

(3) 終期延長の理由 (終期を延長した初年度のみ記入)

前回終期 令和 6 年度

駅利用者数が前年度と比べて12%増加しており、補助を継続することにより、駅利用者に加え周辺住民の生活環境向上に資するとともに、伊勢鉄道の利用促進・経営安定化にもつながるため終期を延長する。